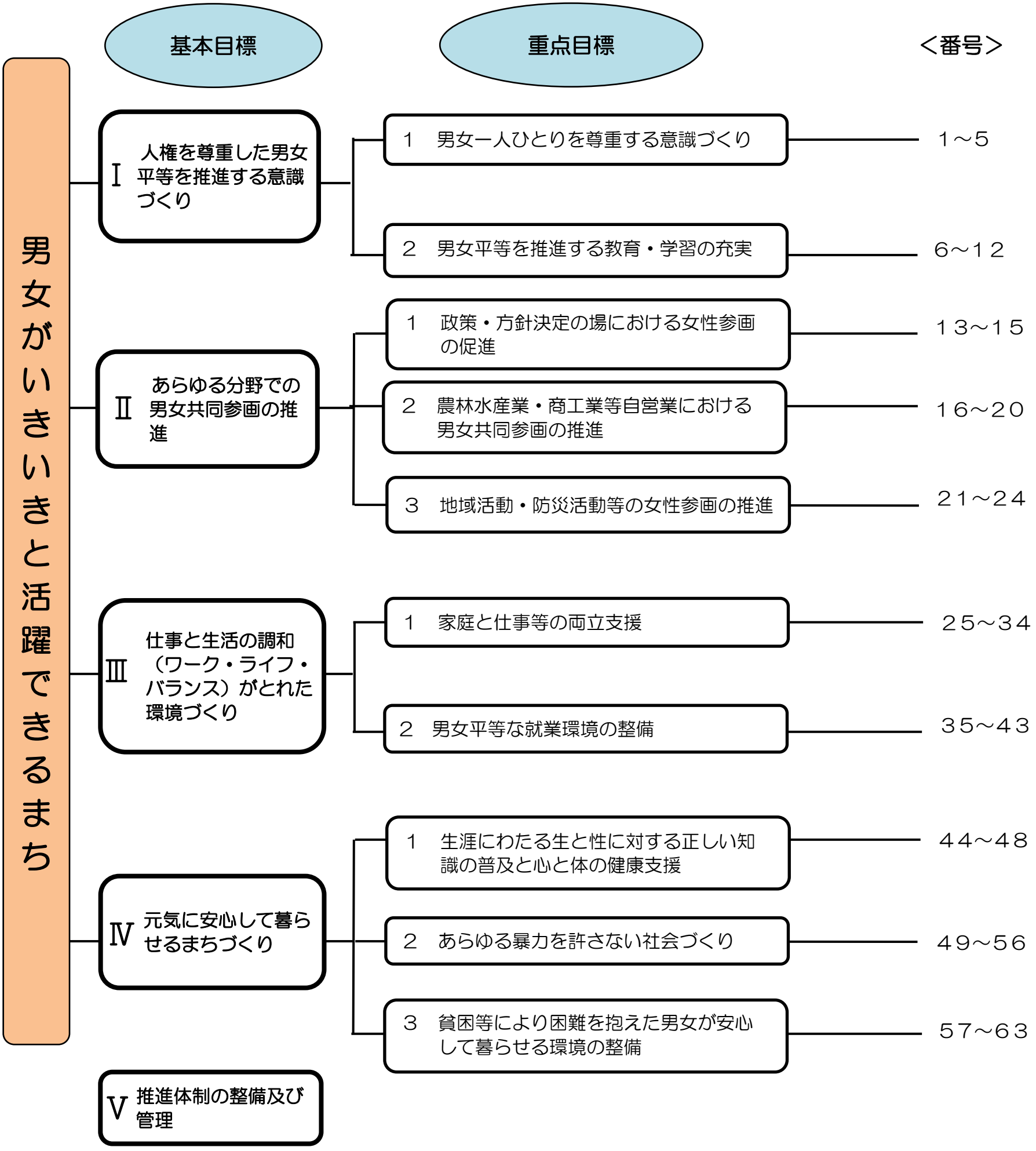


第 3 次

胎内市男女共同参画プラン 21

令和 2 年度 事業進行管理シート



(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向:	(1)	家庭生活・地域・職場における男女平等の意識づくり	
具体的施策:	①	男女共同参画に関する講演会やセミナー、パネル展を開催し男女平等の意識啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
1	男女平等に関する講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	年に1回以上
2	男女共同参画に関する講演会やセミナーのテーマについて、内容が「理解できた」「おおむね理解できた」と答えた人の割合	—	70%以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
家庭・地域・職場における男女平等に関する講演会やセミナー、パネル展を開催し、意識啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・12月に講演会を実施した。 テーマ:「職場のいじめ・ハラスメント対策セミナー」 講師:加藤 美香保 氏 (弁護士) 参加者数:34名 ・男女共同参画パネル展の開催(6月、8月)	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
アンケート結果からは、セミナーの内容について、93.1%の方が「(概ね)理解できた」、「(とても)参考になった」と回答しており、職場のハラスメントの防止について考える機会になった。 新型コロナウイルスの状況を踏まえながら今後も継続して取り組んでいきたい。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向:	(1)	家庭生活・地域・職場における男女平等の意識づくり	
	(2)	あらゆる分野における固定的性別役割分担意識の解消・社会的慣習の見直しに向けた啓発	
具体的施策:	②	市報等を通じて、男女平等に関する情報を発信し、正しい知識の普及・啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
2	男女共同参画に関する講演会やセミナーのテーマについて、内容が「理解できた」「おおむね理解できた」と答えた人の割合	—	70%以上
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて、固定的性別役割分担意識・社会的慣習を見直すための情報及び男女共同参画に関する情報を掲載し、正しい知識の普及啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画関連情報の市報への掲載 計10件 (4/15, 6/15 (2件)、7/1, 7/15, 10/15, 11/1, 12/1, 2/1, 3/1)
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: right;">できた</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後もさまざまな課題に関する情報の発信をし正しい知識の普及啓発に努めていきたい。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいそいそと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向:	(2)	あらゆる分野における固定的性別役割分担意識の解消・社会的慣習の見直しに向けた啓発	
具体的施策:	①	固定的性別役割分担意識・社会的慣習の解消に向けた講演会やセミナー、パネル展を開催します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方がよいと思う市民の割合	72.3%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
固定的性別役割分担意識・社会的慣習の解消に向けた講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・11月にオンラインによるワーク・ライフバランスセミナーを実施した。 テーマ:「こんな時だからこそ働き方改革! ワーク・ライフバランスは、経営戦略〜イクボスで、成果と笑顔がともにアップ〜」 講師:川島高之氏(NPO法人コヂカラ・ニッポン代表 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事) 参加者数:45名 ・男女共同参画パネル展の開催(6月、8月)
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが おおむねできた ・11月の講演会では、コロナ禍において、初の試みであるオンラインでの開催とした。 ・環境面などで懸念されることもあり、研修中に一時的な回線トラブルもあった。 ・アンケート結果については、好評なものが多く「(とても)参考になった」の回答割合が91.7%であった。 ・新型コロナウイルスの状況を踏まえながら今後も継続して取り組んでいきたい。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいざいぎと活躍できるまち		
基本目標：	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向：	(3)	LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の啓発	
具体的施策：	①	講演会やセミナー、パネル展を通して、正しい知識の普及・啓発に努めます。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
4	LGBTについて「内容まで知っている」と答えた人の割合	28.6%	33.3%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の普及・啓発のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	男女共同参画パネル展の開催（6月、8月）	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	6月の男女共同参画週間、8月の講演会に併せてパネル展を開催し、啓発をおこなった。今後も継続して行き、正しい知識の普及啓発に努めたい。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいざいざと活躍できるまち		
基本目標：	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向：	(3)	LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の啓発	
具体的施策：	②	市報等を通じて、性の多様性について情報発信を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
4	LGBTについて「内容まで知っている」と答えた人の割合	28.6%	33.3%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて性の多様性に関する情報発信を行う。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	市報（2/1号）人権コラム「セクシャル・マイノリティとは」の掲載	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	・今後も継続して情報を発信し正しい知識の普及啓発に努めていきたい。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(1)	保育園(こども園)・学校における男女平等の推進
具体的施策:	①	保育園、こども園において、乳幼児一人ひとりが安心して自己発揮できる環境作りに努め、日々の教育・保育を通して、固定的役割分担意識にとらわれない保育を実施します。
	②	保育園、こども園及び学校において、豊かな体験活動を通して、成長に応じた主体的に行動する能力・態度を身に付けるための学習機会を提供し、男女平等教育の充実を図ります。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
5	学校生活において男女の地位が「平等になっている」と感じている生徒の割合	68.0%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園における、男女平等意識を育む保育・教育	事業の対象
保育園・こども園において、男女平等教育を視点とした保育指導計画を作成し、一人ひとりの良さや個性を伸ばし、性別による固定的な役割分担意識を植えつけることのない保育・教育に努める。		乳幼児

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・保育園、こども園において、 ・保育過程、年間指導計画、月間・週間指導計画、個別の経過記録等に基づき、年齢ごとの発達段階、個々の発達段階に沿った保育を実施した。 ・遊びを充実させるための環境を日々構成し、友だちとのかかわりを通して培われていく心の育ちを大切にされた保育を実施した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
・定期的に行われる園内研修の中で、個々の発達段階に沿った男女平等教育を職員が学び合うことにより、乳幼児に対する保育の充実につながる。一人ひとりの個性を尊重した保育を行うことができた。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向：	(1) 保育園（こども園）・学校における男女平等の推進	
具体的施策：	②	保育園、こども園及び学校において、豊かな体験活動を通して、成長に応じた主体的に行動する能力・態度を身に付けるための学習機会を提供し、男女平等教育の充実を図ります。
	③	学校において、男女平等の視点を基盤に、子どもたちが自立して生きる力を育む教育の充実に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R 5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良くと思う市民の割合	72.3%	75.0%
5	学校生活において男女の地位が「平等になっている」と感じている生徒の割合	68.0%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	キャリア教育推進事業	事業の対象
性別による固定的役割分担意識にとらわれず、夢や希望をかなえるために自立して生きる力を育む教育活動の機会を設定する。		生徒

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	(実施のデータ) ・市内中学校全1年生が参加した「中学1年生の職ナビゲーション」を実施した。 実施日 10月14日 (成果のデータ) ・児童生徒は、発達段階に応じて「キャリア・パスポート」を作成した。 ・「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合は87.8%であった。
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが できた ・職ナビゲーションにおいては、職業に対する理解を深め、働く人々の生き方に触れることができた。将来の夢や希望を持ち、挑戦することの必要性を改めて感じる事ができたという感想をもつ生徒もたくさんいた。 ・児童生徒は性別による固定的役割分担意識にとらわれることなく、キャリア教育活動に取り組んでいる。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策:	①	保育士・教職員等に対し、職員研修の一環として男女平等教育の必要性について研修機会を提供します。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育士の研修参加	事業の対象
保育士に対して、男女共同参画事業に関する研修会への参加を促し、男女平等教育の必要性や理解を求める機会を提供する。		保育士

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・令和2年度はコロナウイルス感染防止対策のため、研修会が実施されなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できなかった
・研修会等の有無がこの評価となった。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策:	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園における保護者会・学級懇談会	事業の対象
子どもたちが性別にとわられない考え方を育み、男女共同参画社会を実現していくために、最も身近な存在である保護者を対象として、保護者会や学級懇談会を実施し、男女平等に関する情報提供を行い、普及を図る。		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・令和2年度はコロナウイルス感染防止対策のため、保護者会、研修会、懇談会が実施されなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できなかった
・研修会等の有無がこの評価となった。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向：	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策：	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R 5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園におけるおたよりの発行	事業の対象
保護者向けにおたよりを発行し、男女平等に関する情報発信を行い、普及を図る。 園だより・学級だより：随時		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・保護者向けに園だより等で男女平等に対する情報を発信した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
・子育てに参加をする父親が増えてきている。専業主夫の存在も確認できた。父親も子育てを楽しむことができるような情報をこれからも発信していきたい。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策:	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R 5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保護者に対する男女平等意識の啓発	事業の対象
	保護者会、便り等を活用し、男女の平等、人権の尊重について周知啓発する。	保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・各小中学校では、学校便り等を活用し、人権の尊重について周知啓発した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	あまりできなかった
	・「男女の平等」に特化した内容の便りは発行しなかった。 ・コロナ禍の影響により、保護者会は実施できなかった。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策:	③	教職員の校務分掌や研究会等において、性別による固定的な役割分担とならないように、男女平等の視点による指導を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	教職員に対する職員研修の実施	事業の対象
	教職員に対する人権研修会等において、人権の尊重、男女平等教育の重要性について周知啓発する。	教職員

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修会等において、人権尊重について周知啓発した。 ・新潟県教育施策等方針説明会において、女性管理職の割合について説明があった。管理職は男女平等の視点を持つことの重要性について得心し、教育実践に生かすよう努めている。 	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の人権を尊重する教育実践を継続する。 	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進	
施策の方向:	(1)	職場・各種団体等の方針決定の場への女性の参画促進	
具体的施策:	①	講演会やセミナー、パネル展を開催し、男女共同参画の重要性について啓発します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
7	企業向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
企業、団体等に対し、講演会やセミナー、パネル展を開催し、男女共同参画の重要性について啓発する。		企業、団体等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・11月にオンラインによるワーク・ライフバランスセミナーを実施した。 テーマ: 「こんな時だからこそ働き方改革! ワーク・ライフバランスは、経営戦略~イクボスで、成果と笑顔がともにアップ~」 講師: 川島高之氏 (NPO法人コヂカラ・ニッポン代表 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事) 参加者数: 45名 ・男女共同参画パネル展の開催 (6月、8月) 	
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>男女共同参画の視点で、事業を実施することが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月の講演会では、コロナ禍において、初の試みであるオンラインでの開催とした。 ・環境面などで懸念されることもあり、研修中に一時的な回線トラブルがあった。 ・アンケート結果については好評なものが多く、「(とても) 参考になった」の回答割合が91.7%であった。 ・新型コロナウイルスの状況を踏まえながら今後も継続して取り組んでいきたい。 	おおむねできた

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進
施策の方向：	(2)	市の審議会等への女性委員の積極的登用
具体的施策：	①	市所管の各種審議会等において女性委員の積極的登用に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R 5)
8	市所管の各種審議会等における女性委員の登用割合	30.0%	35.0%
9	市所管の各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等数	16	0

【事業名・内容】

事業名	審議会等への女性委員の積極的登用	事業の対象
	市所管の審議会等における女性委員の積極的登用を推進する。	審議会等委員

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 胎内市附属機関等設置及び運営基準要綱第5条に則り、任期満了等で委員に変更がある場合には、女性を積極的に登用するよう、胎内市男女共同参画庁内推進委員を通じ、依頼した。 令和2年度 市所管の審議会等委員への女性の登用割合：30.6%
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>男女共同参画の視点で、事業を実施することが</p> <p>おおむねできた</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、市所管の審議会等における女性委員の比率は少しずつであるが増加しており、今後も継続して積極的登用をよびかけることが必要である。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進	
施策の方向:	(2)	市の審議会等への女性委員の積極的登用	
具体的施策:	①	市所管の各種審議会等において女性委員の積極的登用に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R 5)
8	市所管の各種審議会等における女性委員の登用割合	30.0%	35.0%
9	市所管の各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等数	16	0

【事業名・内容】

事業名	女性委員登用状況の調査	事業の対象
	市所管の審議会等における女性委員の割合を毎年調査しホームページ等で公表する。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	(10月) ホームページにおいて公表した。 (令和2年4月1日時点 審議会等における女性委員の割合: 30.6% 女性委員が0人の審議会等数: 15)	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	市報への掲載なども検討し、今後も継続して取り組んでいく。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進
施策の方向：	(1)	女性人材の育成と起業支援
	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進
具体的施策：	①	女性農業者フォーラムなどへの参加を促し、農業経営等に関する知識習得の場の提供に努めます。
	②	交流活動を通じて女性農業者同士のネットワークの形成を図り、地域のリーダーの育成に努めます。
	③	農業生産技術や経営に関する研修と交流機会の情報提供に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
10	農女子視察研修ツアー、農村女性”知恵のわ”フォーラム及び農業とくらしを考える女性のつどいの参加者数の合計	98人	100人

【事業名・内容】

事業名	農村女性政策	事業の対象
女性農業者を対象に、視察研修ツアーや合同フォーラム、農業とくらしを考える女性のつどいへの参加を通し農業経営等に関する知識習得の場や、女性農業者同士のネットワークの形成を図れる機会を提供する。		女性農業者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から、フォーラム・女性のつどいは中止となったが講習会を開催した。</p> <p>(実施データ)</p> <p>胎内市農業女性災害対策講習会(食事編) 実施日 11月11日</p> <p>内容 災害時の調理について(パッキング) 参加者 14人</p> <p>(成果データ)</p> <p>講習会後の意見交換から、大変参考になり「理解できた」と答えた方がほぼ10割であった。</p>
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>男女共同参画の視点で、事業を実施することが</p> <p>あまりできなかった</p> <p>講習会を通して、ネットワーク形成の機会を提供でき、一定の成果はあったが継続して支援が必要である。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向:	(1)	女性人材の育成と起業支援	
具体的施策:	③	市の中小企業支援事業及び貸付事業等の支援事業の周知に努め、女性が積極的に活用、または対象となることができるよう促します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
11	中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者の件数	2件	5件

【事業名・内容】

事業名	商工業等自営業における女性の起業及び経営支援	事業の対象
市の中小企業支援事業や国・県および関係機関等の支援事業を周知して活用を促しながら、商工会等と連携して女性の起業に関する実務や創業後の経営に関する支援を行う。		女性経営者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	胎内市中小企業支援事業	「始める支援」(起業支援)	1件
		「創業後支援」(経営改善)	5件
		「育てる支援」(人材育成)	1件
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが		できた
	女性起業家、事業者からの申請により支援を行った。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきいと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向:	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進	
具体的施策:	①	農業体験等での学びを通じて農業に興味を持ってもらえるように努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
12	男女で構成される家族経営協定締結農家数	30戸	35戸

【事業名・内容】

事業名	ふるさと体験学習推進事業	事業の対象
市内小学生を対象に市民の民家に泊めて農村生活体験の機会を提供する。		小学生

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ふるさと体験学習での民泊は中止としたが、日帰りでの農業体験を実施した。 (実施データ) 日帰りの農業体験 市内小学校 2校 97名
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが あまりできなかった 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふるさと体験学習の民泊は中止としたが、日帰りでの農業体験等を実施し、子供達に貴重な農作業体験をさせることができた。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向：	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進	
具体的施策：	②	家族経営協定制度の周知により、就農の促進に向けた意識啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
12	男女で構成される家族経営協定締結農家数	30戸	35戸

【事業名・内容】

事業名	家族経営協定	事業の対象
協定締結の推進のため、家族経営や今後経営移譲をしようとする農業者からの相談があった際に制度の周知を行う。また、認定農業者の会合の場で情報提供を行う。		農業者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	家族経営協定締結農家数:30戸 (増減なし。)	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが 農業者からの相談なし。 コロナウイルス感染症対策により、会合の機会もなく周知できず。 引き続き、家族経営や経営移譲等の情報があつた際には制度の周知を行っていく。	あまりできなかった

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向:	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進	
具体的施策:	④	市報等を通じて、事業承継に係る支援事業の周知と積極的な活用を促すとともに、関係機関と連携して積極的な人材育成に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
11	中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者の件数	2件	5件

【事業名・内容】

事業名	企業や団体における意識の啓発・醸成	事業の対象
企業や団体等に対しセミナー等の開催を周知して啓発を図るとともに、事業主・雇用主に対して自らセミナー等を開催することにより意識の醸成を図るよう促す。		事業主・雇用主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	コロナ禍でセミナー等が開催されない状況にあり、成果を上げることができなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが 今後の状況を見ながら、周知・啓発に努めたい。	できなかった

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	生涯学習課
	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進	
施策の方向:	(1)	地域活動への男女共同参画の推進	
具体的施策:	①	講演会やパネル展を通して市民一人ひとりの男女共同参画意識の高揚を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
13	男女共同参画に関する市民向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	市民講座	事業の対象
身近なテーマについて講座を開催し、各地区公民館と連携しながら男女共同参画社会についての啓発を行う。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	当初、アンガーマネジメントに関する市民向け講座を予定していたが、コロナ禍でセミナー等が開催されない状況にあり、成果を上げることができなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できなかった
	今後の状況を見ながら、周知・啓発に努めたい。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進	
施策の方向:	(1)	地域活動への男女共同参画の推進	
具体的施策:	②	市報等を通じて、男女共同参画に関する情報を発信し、正しい知識の普及・啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
13	男女共同参画に関する市民向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて、地域活動における男女共同参画を推進する情報を発信する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画を推進する情報の市報への掲載 計10件 (4/15, 6/15 (2件)、7/1, 7/15, 10/15, 11/1, 12/1, 2/1, 3/1)
検証 ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して情報を発信し正しい知識の普及啓発に努めていきたい。

できた

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進
施策の方向：	(2) 防災分野における男女共同参画の推進	
具体的施策：	①	男女双方の視点で災害に強い地域づくりをめざし、自主防災組織を中心とした研修会等を実施します。
	②	男女共同参画の視点を踏まえた避難所開設訓練、防災講演会等を開催し、市民の意識啓発に努めます。
	③	男女それぞれのニーズに配慮した備蓄を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R 5)
14	防災士に占める女性の割合	7.2%	15.0%

【事業名・内容】

事業名	自主防災活動における女性の参画促進	事業の対象
地域の防災活動において、多様な意見等を反映させるため、地域の方針決定過程への女性の参画を促進するとともに、「女性防災士」の育成を図る。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	新型コロナウイルス感染症の影響により、自主防災組織等による地域の防災活動は、中止を余儀なくされ、計画段階からの参画は難しい状況であった。 また、新たに女性防災士の養成はなされなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが 自主防災組織等による地域の防災活動に防災士が参画する自治会・集落が増えつつあるが、今後は防災士のスキルアップ研修等においても、女性の視点を取り入れた内容を取り入れ、男女共同参画の視点を持った防災士の育成に努めたい。	おおむねできた

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進	
施策の方向：	(2)	防災分野における男女共同参画の推進	
具体的施策：	①	男女双方の視点で災害に強い地域づくりをめざし、自主防災組織を中心とした研修会等を実施します。	
	②	男女共同参画の視点を踏まえた避難所開設訓練、防災講演会等を開催し、市民の意識啓発に努めます。	
	③	男女それぞれのニーズに配慮した備蓄を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
15	女性消防隊員数 (女性消防団員含む)	11人	15人

【事業名・内容】

事業名	災害対策の方針決定過程等への女性の参画促進	事業の対象
防火知識や応急処置技能を取得した女性消防隊員を確保するとともに、男女共同参画の視点を踏まえた災害対策の検討の場において、女性消防隊員の参画を促進する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な防災活動は、中止を余儀なくされ、計画段階からの参画は難しい状況であった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
女性消防隊は、主に火災予防の啓発や、AEDの使用法の指導を行っている。今後は女性に配慮した避難所運営や、備蓄品の確保に向け、女性消防隊から意見を聞く機会を設けるなどにより、男女共同参画の視点を持った取組を推進していきたい。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(1)	男性の育児・家事・介護への参画促進	
具体的施策:	①	夫婦で協力し合い、出産・子育てができるよう、パパママ学級を実施します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	パパママ学級	事業の対象
妊婦とその夫を対象に、妊娠中の前期と後期の2回実施する。講義や沐浴体験などの実習、参加者同士のグループワークを行い、夫婦が協力し合って子育てができるよう支援する。		妊婦とその夫

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5・6月休止。7月から再開した。 前期：9/24、12/24、3/26 後期：8/27、11/26、2/25	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが ・感染症拡大防止のため、再開後は従来の内容を一部変更して実施した。 ・参加者からは、「参加者同士の交流」を求める声があるため、今後も感染症拡大防止に留意し、実施したい。	おおむねできた

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向:	(1) 男性の育児・家事・介護への参画促進
具体的施策:	② 講演会やパネル展を通して男性の家事・育児・介護への参画を促します。
	④ 市民・企業に対し講演会やセミナー等を通じて長時間労働の抑制や年休取得等の啓発を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男性向け男女共同参画セミナー	事業の対象
女性財団との共催の地域セミナー等を通じて、市民・企業に対し、ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催し、男性にとっての男女共同参画の意義を啓発する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・11月にオンラインによるワーク・ライフバランスセミナーを実施した。 テーマ:「こんな時だからこそ働き方改革! ワーク・ライフバランスは、経営戦略~イクボスで、成果と笑顔がともにアップ~」 講師:川島高之氏(NPO法人コヂカラ・ニッポン代表 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事) 参加者数:45名 ・男女共同参画パネル展の開催(6月、8月) 	
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>男女共同参画の視点で、事業を実施することが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月の講演会では、コロナ禍において、初の試みであるオンラインでの開催とした。 ・環境面などで懸念されることもあり、研修中に一時的な回線トラブルもあった。 ・アンケート結果については好評なものが多く、「(とても)参考になった」の回答割合が91.7%であった。 ・新型コロナウイルスの状況を踏まえながら今後も継続して取り組んでいきたい。 	おおむねできた

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(1)	男性の育児・家事・介護への参画促進	
具体的施策:	③	市報等を通じて、事例等を紹介し意識啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて男性の育児・家事・介護への参画を促進するためのコラム等を紹介し、意識啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画関連情報の市報への掲載 計10件 (4/15, 6/15 (2件)、7/1, 7/15, 10/15, 11/1, 12/1, 2/1, 3/1) 	
検証 ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 男性向けに特化した育児・家事・介護への参画を促す情報の発信はあまりできなかったが、県や新潟県女性財団などからの情報を提供した。 今後もさまざまな機会と捉え、男性に向けた家事・育児・介護への参画を促す情報の発信に努めていきたい。 	できた

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(2)	男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策:	②	地域子育て支援センターにおいて、遊びの提供、親子の交流の場を提供します。また、育児相談の実施、育児講座を随時開催し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	地域子育て支援センター事業	事業の対象
地域での子育てを支援するため、ほっとHOT・中条と市内の保育園、認定こども園に「地域子育て支援センター」を設置し、遊びの場の提供や親子の交流の場の提供、育児相談、育児講座を実施する。		就学前の親子

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターにおいて、親子の交流の場の提供、遊びの提供を行ない、定期的に子育て講座や子育てに関する相談を実施した。 一部の子育て支援センターにおいて、定期的に出張ひろばや出前保育を実施した。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>男女共同参画の視点で、事業を実施することが</p> <p style="text-align: right;">できた</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、各子育て支援センターは、利用者の人数制限、時間帯制限など工夫をして子育て支援を行うことにより、親子で触れ合う時間、場所を保障することにより、子育ての孤独化を防止し、子育ての楽しさを保護者同士で味わうことができた。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課 総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(2)	男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策:	②	地域子育て支援センターにおいて、遊びの提供、親子の交流の場を提供します。また、育児相談の実施、育児講座を随時開催し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行います。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業、子育て支援事業	事業の対象
	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児とその保護者・妊婦を対象に、子育て支援イベントを年2回開催する。 ・「親子ふれあいコンサート」を、総務課「男女共同参画事業」と共同で開催する。 ・「親子ふれあい広場」を開催する。 	未就園児と保護者、妊婦

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、「親子ふれあいコンサート」「親子ふれあい広場」が実施されなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できなかった
	・研修会等の有無がこの評価となった。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(2)	男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策:	③	ファミリーサポートセンターにおいて、仕事と家庭生活の両立を支援するとともに、子育ての不安や負担の軽減を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業の対象
地域において、子育て家庭の仕事と育児の両立を支援し、子育てしやすい環境をつくることを目的として、「子育ての応援を受けたい方(依頼会員)」と「子育てを応援できる方(提供会員)」の、会員同士の相互支援活動を実施する。		<依頼会員> 子育て家庭 <提供会員> 市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ファミリーサポートセンター会員数：令和3年5月現在(令和2年5月)、依頼会員219名(217)・提供会員66名(69) 両方会員18名(19) 利用数：令和2年度599件・令和元年度995件	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	・ファミリーサポートセンター利用の内訳としては、令和2年度は小学校の迎え27%、保護者等の短時間・臨時的就労の場合の預かりが12%であった。令和元年度は保護者等の病気、その他急用の場合の預かり23%、保護者等の短時間・臨時的就労の場合の預かりが22%であった。利用回数は元年度より下降しているが、市民にはファミリーサポートセンターは周知されており、園行事の際の預かりなどが増加している。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向:	(2) 男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知
具体的施策:	④ 地域子育て支援センターの様子や男女共同参画の視点を取り入れた遊びの紹介、子育て情報などを掲載した情報誌の発行、ホームページへの掲載、子育て情報メールの発信に努め、様々な子育て情報の周知を図ります。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	子育て情報誌の発行、子育て情報メールの配信及びホームページの掲載	事業の対象
子育て通信「にこにこ」、子育て情報メール、ホームページにて、地域子育て支援センターに関する情報、子育てに役立つ情報、子どもの健康に関する情報、男女共同参画の視点を取り入れた子育て情報等を発信する。 子育て通信:月1回発行 子育て情報メール:定期配信月1回、臨時配信:随時 ホームページ:通年		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 各月1回以上定期的に子育て情報メールを配信し、子育てに役立つ情報について周知した。 各支援センターにおいて、支援センターだよりを定期的に発行した。 子育て情報誌「にこにこ」を月1回発行するとともに市のホームページに掲載をした。 子育てに役立つ情報等について、子育て情報メールで周知を行った。
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することができた ・今後の課題として、各支援センターが発信している「子育て支援センターだより」を市のホームページで見ることができるようにすることを検討していきたい。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(3)	男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策:	①	介護保険制度の利用者及びその家族が自ら制度を選択できるように市報やホームページ等を活用して、周知します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
18	要介護（要支援）認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	市報、ホームページへの掲載	事業の対象
要介護認定者等やその家族が、介護保険サービスを利用する際に自らサービスを選択できるように市報やホームページ等を通じて介護保険制度やサービス内容等を周知する。		要介護認定者等やその家族

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	市報やホームページに制度全般について掲載 市報に折込 10,300部（介護保険料について）	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	介護保険サービスの利用者及びその家族が自らサービスを選択できるように周知していくことは今後も重要になってくることから継続して事業を実施していく。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(3)	男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策:	②	要介護認定等結果送付時に、サービス案内等記載されたパンフレットを同封します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
18	要介護（要支援）認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	パンフレットの送付	事業の対象
要介護認定の結果通知等を送付する際に、サービス案内等が記載されたパンフレットを同封する。		要介護認定者等 やその家族

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	認定結果送付時にパンフレットを同封した件数 1,057件
検証 ※事業担当課が 事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが できた 介護保険サービスの利用者及びその家族が自らサービスを選択できるように周知していくことは今後も重要になってくることから継続して事業を実施していく。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(3)	男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策:	③	適切なサービスの利用や関係機関の紹介、各種制度につなげるなどの相談支援を行います。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
18	要介護(要支援)認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	高齢者福祉相談	事業の対象
適切なサービスの利用や関係機関の紹介、各種制度につなげるなどの相談支援を行います。		高齢者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	(実施のデータ) 高齢者総合相談 年間延11,855件 (成果のデータ) 相談件数は3年前と比較して約1.4倍となっている。
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">おおむねできた</div> 介護や福祉サービス等の支援が必要な高齢者に対して適切なサービスの利用や関係機関の紹介、各種制度につなげるなどの相談支援を行うことにより、家族等の介護負担の減少や家庭と仕事の両立につながっているものと思われる。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(1)	男女の均等な雇用機会と待遇の確保
具体的施策:	①	保育園、こども園において、0歳児から5歳児の乳幼児の受け入れ、早朝保育、延長保育、休日保育等による保育時間延長を継続し、保護者が安心して働ける環境の整備を図ります。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	延長保育事業・休日保育事業	事業の対象
就労形態の多様化により、保育標準時間認定(11時間)または保育短時間認定(8時間)を超える就労に対応する延長保育サービスを各園で実施する。 ※延長保育の時間や料金については、認定区分および保育の必要量(標準時間または短時間)により異なる。 休日の預かりについては、日曜日および祝日に、保護者の就労などの都合により、家庭で保育が困難な場合に実施する。		保育施設における支給認定児童

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・保育園、こども園における早朝、延長保育は充実されており、安心して就労ができる体制を整えた。 ・日曜日および祝日保育実施日は4日間でのべ4名の利用があった。 ・保育園、こども園の家庭保育期間においても、保育を希望される園児の保育を行った。
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することができた ・早朝、延長保育の充実は、保護者が安心して就労できることにつながる。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(1)	男女の均等な雇用機会と待遇の確保
具体的施策:	②	県や市が主催するセミナー等の情報提供を行います。
	③	6月の男女雇用機会均等月間時に市報等で周知をします。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	男女雇用機会均等法の普及啓発	事業の対象
企業及び事業主に対して男女雇用機会均等法等の普及啓発に努め、そぐわない慣行や慣例の撤廃や改善を促す。		企業及び事業主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	コロナ禍によりセミナー等の中止などが相次ぎ機会が無く、普及啓発ができなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	あまりできなかった
令和2年度は普及啓発活動をあまりできなかったが、今後はまた周知に努める。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】
- 協働目標
 - 推進目標

年度	R 2
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向:	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策:	①	県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	育児・介護休業法の普及啓発	事業の対象
企業及び事業主に対して育児・介護休業法等の普及啓発に努め、女性が職員が休暇をとりやすく働きやすい職場環境の整備を促す。		企業及び事業主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	コロナ禍によりセミナー等の中止などが相次ぎ機会が無く、普及啓発ができなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	あまりできなかった
	令和2年度は普及啓発活動をあまりできなかったが、今後はまた周知に努める。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向:	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策:	①	県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
20	ハッピー・パートナー企業登録数 (累計)	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
県と連携し、ハッピー・パートナー企業の取組等をホームページ等で紹介する。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッピー・パートナー制度内容や登録団体の紹介などについて、市報へ掲載した。(2/1号) ・市内企業にハッピー・パートナー企業に関するリーフレットを配布した。 ・6月のパネル展において、ハッピー・パートナー企業に関するパネルを展示した。 ・市役所本庁舎の設計図書閲覧所にハッピー・パートナー企業に関するリーフレットを配置した。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>男女共同参画の視点で、事業を実施することが おおむねできた</p> <p>今年度は新たな取組みも行ったが、ハッピー・パートナー企業への登録はなかなか増えない状況が続いている。 近隣市町村の情報も収集しながら、登録企業の増加につながる取組みを検討し、実施していくことが必要である。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向:	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策:	②	ハッピー・パートナー企業に対し、社員同士の交流や情報発信の場を提供し、男女が働きやすい環境整備に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
20	ハッピー・パートナー企業登録数 (累計)	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	交流機会の提供	事業の対象
ハッピー・パートナー企業に対し、社員同士の交流や情報発信の場を提供し、男女が働きやすい環境整備に努める。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	未実施	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが 今後、開催に向けて準備していきたい。	できなかった

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向:	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策:	①	県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
20	ハッピー・パートナー企業登録数 (累計)	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	ハッピー・パートナー企業の登録促進	事業の対象
関係機関への呼びかけや企業訪問により、ハッピー・パートナー企業への登録を推進し、男女共同参画の推進を図る。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取組として、登録企業に対し、市報への広告掲載料を5回分免除する特典を設けた。 ・11月の男女共同参画セミナーにおいて、ハッピー・パートナー企業への登録促進を行った。 	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
<p>今年度は新たな取組みも行ったが、ハッピー・パートナー企業への登録はなかなか増えない状況が続いている。</p> <p>近隣市町村の情報も収集しながら、登録企業の増加につながる取組みを検討し、実施していく必要がある。</p>		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向:	(3)	女性に対する再就職支援の推進	
具体的施策:	①	企業への啓発として、女性の再就職、起業等のための情報提供や支援を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	女性の求職者に対する求人情報の提供	事業の対象
ハローワークや商工会と連携して女性の求職者に対する求人情報を積極的に提供する。		女性の求職者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	ハローワークからの情報誌を市役所に設置して情報を提供した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	上記のような取り組みと併せ、ハローワークのホームページに登録することを促すなど、現況にあった方法の普及も行う。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課
	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向:	(3)	女性に対する再就職支援の推進	
具体的施策:	②	子育て等でいったん離職した女性が再就職できるよう、セミナー等を行います。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
子育て等でいったん離職した女性が再就職できるよう、セミナー等を実施する。		女性

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	未実施	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが 今後、開催に向けて準備していきたい。	できなかった

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向:	(3)	女性に対する再就職支援の推進	
具体的施策:	③	ハローワーク等からの情報を収集して支援に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	求職者と企業等に対する周知と啓発	事業の対象
ハローワークや商工会と連携して女性の求職者や雇用主に国等の支援を周知する。		女性の求職者、 雇用主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	コロナ禍によりセミナー等の普及啓発の機会が無かった。	
検証 ※事業担当課が 事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが 関係機関と連携してセミナー等の開催に努める。	あまりできなかった

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援	
施策の方向：	(1)	生涯を通じた男女の心と体の健康支援	
具体的施策：	①	特定健康診査を実施し、健康増進や生活習慣病予防のために、自ら健康管理を行える人が増加するよう努めます。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
22	特定健診の受診率	45.4%	60.0%

【事業名・内容】

事業名	特定健康診査	事業の対象
特定健康診査を実施し、健康増進や生活習慣病予防のために、自ら健康管理を行える人が増加するように支援します。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	コロナ禍のため、緊急事態宣言期間は特定健診を中止し、日程調整し、予定していた回数を実施した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
集団の特定健診では2,274人が受診し、令和元年度の99.5%の方が受診できていた。結果説明会も密を避け実施し、参加者は対象の61.4%だったが、訪問や電話等で説明し93.7%の方に健診結果を返すことができていた。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向:	(2)	性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の普及・啓発
具体的施策:	①	性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する情報を市報等で発信し啓発に努めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
23	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて内容まで知っている人の割合	3.3%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	事業の対称
男女平等社会推進事業 市報等により性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する情報を発信し啓発に努める。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・8月の人権講演会にあわせてパネル展を開催し、性と生殖に関する健康と権利に関するパネルも展示した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	・今後も継続して取り組み、パネルだけでなく市報などによる啓発も検討する。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向:	(2)	性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の普及・啓発
具体的施策:	③	赤ちゃんふれあい教室を実施し、命の尊さを学び、子育てへの価値観を高めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
23	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて内容まで知っている人の割合	3.3%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	赤ちゃんふれあい教室	事業の対象
中学生を対象に年1回開催。講義や妊婦疑似体験、子育て中の母へのインタビュー、乳児とのふれあいを通じ、命の大切さや子育てへの価値観を高める。		中学生

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できなかった

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
 □ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標：	Ⅳ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向：	(3)	性に対する正しい知識の啓発
具体的施策：	①	学校教育のさまざまな機会において、効果的な学習が行われるように、発達段階に応じた適切な指導の充実を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
24	保護者と子どもを対象とした性に関するセミナーの実施回数	—	1回

【事業名・内容】

事業名	事業の内容	事業の対象
	性に関する教育の実施	
	学習指導要領に基づく保健体育の授業において、養護教諭や関係機関と連携した授業実践の充実に努める。	児童・生徒

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・小中学校での特別活動、特別の強化「道徳」、総合的な学習、体育（保健体育）、体験活動などの学校行事を通じて、児童生徒の発達段階において性に関する課題と正しい知識と行動選択の学習機会を提供した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	・SNS等、性に対してメディアの影響も大きい状況を鑑みて、保護者を巻き込んだ、内容面も考慮したメディア・コントロールがより実効性を伴うと考える。 ・性に関わる認識は保護者を含めた身近な大人の影響を大きく受ける。保護者等の性に対する正しい認識の啓発のために、関係機関・団体との更なる連携強化に努めていく。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援	
施策の方向：	(3)	性に対する正しい知識の啓発	
具体的施策：	②	児童生徒の保護者を対象に性に関する学習会の機会を提供します。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
24	保護者と子どもを対象とした性に関するセミナーの実施回数	—	1回

【事業名・内容】

事業名	事業の対象
保護者会等での学習会 小・中学生の子を持つ保護者を対象に性に関するセミナーを開催する。	保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	未実施
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが できなかった 今後、開催に向けて準備していきたい。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向:	(1)	ドメスティック・バイオレンス（DV）の根絶と防止に向けた啓発	
具体的施策:	①	DVに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催します。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
25	DV防止について市報等の啓発または講演会やセミナー、パネル展を開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	事業の内容	事業の対象
	男女平等社会推進事業	
	DVに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・6月の男女共同参画週間と、8月の人権講演会にあわせてパネル展を開催し、DV防止に関するパネルも展示した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	・今後も継続して取り組み、普及啓発に努める。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向:	(1)	ドメスティック・バイオレンス(DV)の根絶と防止に向けた啓発	
具体的施策:	②	市報等によりDV防止の啓発や支援情報、相談窓口の周知に努めます。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
25	DV防止について市報等の啓発または講演会やセミナー、パネル展を開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	事業の内容	事業の対象
男女平等社会推進事業	年間を通じて、市報等によりDV防止のための啓発や相談窓口の周知に努める。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・市報による相談窓口の周知(新潟県男女平等推進相談室、女性の人権ホットライン、弁護士による無料法律相談 NPO法人ウィメンズサポートセンターにいがた等)	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	・今後も被害を未然に防ぐためにさまざまな機会を捉えて相談窓口等の周知を徹底し、相談を受けたときには迅速かつ丁寧な対応ができるよう積極的に研修等への参加などを通じて準備しておく必要がある。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向:	(2)	あらゆるハラスメントの根絶と防止に向けた啓発	
具体的施策:	①	あらゆるハラスメントに対する認識の向上及び防止のための市民や企業向けの講演会やセミナー、パネル展を開催します。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
26	あらゆるハラスメントについて市報等の啓発または講演会やセミナーを開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	事業の内容	事業の対象
男女平等社会推進事業	あらゆるハラスメントに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・12月に講演会を実施した。 テーマ:「職場のいじめ・ハラスメント対策セミナー」 講師:加藤 美香保 氏(弁護士) 参加者数:34名 ・男女共同参画パネル展の開催(6月、8月)	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	・アンケート結果からは、セミナーの内容について、93.1%の方が「(概ね)理解できた」、「(とても)参考になった」と回答しており、職場のハラスメントの防止について考える機会になった。 ・新型コロナウイルスの状況を踏まえながら今後も継続して取り組んでいきたい。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字:事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字:事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(2)	あらゆるハラスメントの根絶と防止に向けた啓発
具体的施策:	②	市報等によりあらゆるハラスメントに対する防止の啓発や支援情報、相談窓口の周知に努めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
26	あらゆるハラスメントについて市報等の啓発または講演会やセミナーを開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	事業の内容	事業の対象
男女平等社会推進事業	市報等によりあらゆるハラスメントの防止のための啓発や支援情報、相談窓口の周知に努める。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画関連情報の市報への掲載 計10件 (4/15, 6/15(2件)、7/1, 7/15, 10/15, 11/1, 12/1, 2/1, 3/1) 2/1号では、人権コラムとして、「ハラスメントチェック～あなたは大丈夫ですか?」という啓発記事を作成した。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: right;">できた</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後もさまざまな機会と捉え、情報の発信をし正しい知識の普及啓発に努めていきたい。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向:	(3)	女性相談窓口の充実及び他の期間との連携強化	
具体的施策:	①	市報等により国や県、市、民間団体の相談窓口の周知に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
27	DVについて無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	36.5%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	事業の対称
男女平等社会推進事業 市報等による国や県、民間団体の相談窓口の周知に努める。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	市報による相談窓口の周知(新潟県男女平等推進相談室、女性の人権ホットライン、弁護士による無料法律相談 NPO法人ウィメンズサポートセンターにいがた等)	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	今後とも被害を未然に防ぐためにさまざまな機会を捉えて相談窓口等の周知を徹底し、相談を受けたときには迅速かつ丁寧な対応ができるよう積極的に研修等への参加などを通じて準備しておく必要がある。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R 2
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向：	(3)	女性相談窓口の充実及び他の期間との連携強化	
具体的施策：	②	人権擁護委員や民生児童委員等の関係機関と、連携を強化し早期解決に努めます。	
	③	関係機関と連携を図り、相談窓口の充実と強化を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R 5)
27	DVについて無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	36.5%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	関係機関との連携強化	事業の対象
人権擁護委員や民生児童委員等の関係機関と、連携を強化し早期解決に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・人権擁護委員の特設人権相談や、人権講演会などの機会を捉え、人権擁護委員や民生児童委員等と連携し、事業に取り組むことができた。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	今後も、人権擁護委員や民生児童委員等の関係機関と密に連携をとり、協働して市民の啓発活動等をおこなっていききたい。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(4)	児童虐待防止策の推進
具体的施策:	①	児童家庭相談窓口において、保護者等からの相談対応を行います。また、学校や保育園（こども園）、児童相談所等の関係機関と連携し、児童や保護者への支援を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
28	児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	—	35.0%以下

【事業名・内容】

事業名	事業の対称
児童家庭相談窓口	保護者等
児童家庭相談窓口を設置し、保護者や学校・保育園（こども園）等からの相談対応を行う。	

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・児童家庭相談窓口を設置して、保護者や関係機関からの相談に対応した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが ・母子保健部署と同一係内に窓口を設置しているため、妊娠届時から情報把握が可能であり、子育てに関する相談に早期から対応することができている。	できた

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(4)	児童虐待防止策の推進
具体的施策:	②	市報に児童虐待防止に関する記事を掲載し、啓発や相談窓口の周知を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
28	児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	—	35.0%以下

【事業名・内容】

事業名	児童虐待防止に関する啓発、窓口の周知	事業の対象
市報に児童虐待防止に関する記事を掲載し、併せて児童家庭相談窓口の周知を行う。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・「市報たいない」へは、隔月で啓発記事を掲載した。 ・児童虐待防止推進月間に、関係機関にポスター掲示の依頼、リーフレットの配布を行った。 	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
<ul style="list-style-type: none"> ・市報のほか、母子保健事業やホームページへの掲載等を通じて啓発活動を行うことができた。 		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきいと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向:	(1)	複合的な課題を抱える生活困窮者の自立促進
具体的施策:	①	それぞれが抱える様々な困難について、気軽に安心して相談ができる「福祉まるごと相談窓口」の充実と周知を進めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
29	地域支え合いサポーター認定者数	44人	62人

【事業名・内容】

事業名	福祉まるごと相談窓口の開設	事業の対象
	まるごと相談員3名が、生活困窮や高齢、障がいなど福祉に関する生活上の様々な困りごとについての相談に対応し、解決策を一緒に探り、必要とする支援へつなげるなどの相談窓口を常時開設する。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ	(実施のデータ) 福祉まるごと相談窓口 年間延相談件数 実64人、延154人 ※うち、金銭的な相談 実12人、延42人	
※事業担当課が事後記入	(成果のデータ) 金銭的な問題の解決に向けて関係機関につなげた件数 10人 うち、支援につながった件数 8人	
検証	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
※事業担当課が事後記入	貧困等の問題を抱えた人に対して、解決策を一緒に探り、必要な支援につなげることで、安心して暮らすことのできる環境の整備が行えている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(1)	複合的な課題を抱える生活困窮者の自立促進	
具体的施策:	②	関係機関との連携を図り、地域や社会資源を活用し、自立に向け状況に応じた支援を行います。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
29	地域支え合いサポーター認定者数	44人	62人

【事業名・内容】

事業名	生活困窮者自立支援せいかつ応援ネットワーク会議	事業の対象
	福祉まるごと相談庁内会議構成員をはじめ、高齢・介護・障がい・地域包括等の関係者による情報交換・連携強化を推進する会議を年2回開催する。	関係機関

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	年2回 7月と2月に開催 生活保護業務と生活困窮者自立支援事業における課題等の発表や弁護士による事例をもとに情報交換や連携強化に努めた。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	多様化する困難事例に対し、専門的分野の方からのご意見をいただく場としての会議であり、必要な支援につなげるよう引き続き情報交換等を実施していく。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援
具体的施策:	②	ひとり親家庭等に対して児童扶養手当を支給し、生活の安定と自立の促進を図ります。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	児童扶養手当	事業の対象
離婚などにより、ひとり親となった方や、親に代わってその児童を養育している方への支給を行う。 ※支給の対象者は、児童を監護しているひとり親家庭の親。または、父母のいない児童を養育している養育者。 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童 (政令で定める程度の障害の状態にある児童については20歳未満)		ひとり親家庭等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	奇数月に、約210人の受給者に対して手当の支給を行った。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	所得等の制限があるため、すべてのひとり親家庭等が受給対象となるわけではないが、保護者の経済的負担の軽減となっている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策:	③	父又は母及び児童等の医療費の一部を助成し、保健の向上と福祉の増進、経済的負担の軽減を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	子ども医療費助成	事業の対象
子どもの医療費の一部助成を行う。 ※助成の対象は、通院・入院とも18歳の3月末日まで 自己負担額…保険適用分のみ助成対象 通院：1回530円 (1医療機関につき、月の初回から4回目まで。5回目以降は0円) 入院：1日1,200円		高校生までの児童

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・年度の切替り時に3,463人更新し、都度新規、変更等の手続きの対応をした。 ・申請に基づき滞りなく事業を実施することができた。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	親の所得等の制限がなく、すべての子が受給対象となり、保護者の経済的負担の軽減となっている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策:	③	父又は母及び児童等の医療費の一部を助成し、保健の向上と福祉の増進、経済的負担の軽減を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	ひとり親家庭等医療費助成	事業の対象
ひとり親家庭等の医療費の助成を行う。 ※助成の対象は、健康保険に加入しているひとり親家庭の親と児童。または父母のいない児童を養育している養育者と児童。 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童 (政令で定める程度の障害の状態にある児童については20歳未満) 自己負担額…保険適用分のうち 通院: 1回530円 (1医療機関につき、月の初回から4回目まで。5回目以降は0円) 入院: 1日1,200円 ※所得制限により、医療費助成が受けられない場合もある。		ひとり親家庭等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	令和2年度においては220人更新し、都度新規、変更等の手続きの対応をした。事業を実施するうえで、固定的な役割分担意識にとらわれることなく、展開することができた。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	所得等の制限があるため、すべてのひとり親家庭等が受給対象となるわけではないが、保護者の経済的負担の軽減となっている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策:	④	就業に結び付きやすい資格取得のため、養成機関において修業した際に、修業期間の生活費を支給し、生活の安定と経済的自立の促進を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	高等職業訓練促進給付金等支給事業	事業の対象
ひとり親家庭が、養成機関で看護師等の資格取得に向けた1年以上のカリキュラムを受講する場合、48か月を上限に給付金の支給を行う。		ひとり親家庭

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	前年度からの継続1名と新規申請者1名に対して、看護師等の資格取得の支援として給付金の支給を行った。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	新規申請者に対しては、事前に相談を受け就学状況等を把握することでスムーズに申請受付及び支給を行うことができた。資格の取得を支援し、ひとり親家庭の安定した就業に結びつけることができている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R 2
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいそいそと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策:	⑤	主体的な能力開発の取組の支援として、就業に結びつくと考えられている教育訓練講座の受講費の一部を助成し、経済的自立の促進を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	自立支援教育訓練給付金支給事業	事業の対象
ひとり親家庭の親が、教育訓練講座を受講した場合の経費の一部の支給を行う。		ひとり親家庭

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	保育士の資格取得のために通信制講座を受講している対象者に給付金の支給を行った。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	おおむねできた
	ひとり親の就職に有利な資格を習得するための主体的な取り組みを支援し、ひとり親家庭の自立促進を図ることができている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄